

子どものいる世帯への発行はすべからざるが。

答 この度、保険税納付が困難な低所得世帯に対し、一層のきめ細やかな配慮をした運用が必要であるとの判断から、保険税7割軽減世帯について、新たに適用除外とすることとした。低所得者や高齢者、子どものいる世帯に対しても、引き続き実態調査や納税折衝をきめ細やかに行い、資格証明書の解除に向けた取り組みを進める。

◇関連質問

- ・資格証明書について(水曜会)
- ・資格証明書発行抑制を(市民連合)

ごみ減量化について
(公明党)

問 ごみ減量化対策の一環として、資源ごみは補助制度導入により、市が回収する量に匹敵するごみ回収が、自治会や子ども会などの諸団体によって行われ、効果を上げているとの報道がある。ごみ減量化における今後の新たな取り組みは。



資源回収の取り組み

答 2006年度に策定した福山市一般廃棄物処理基本計画に基づき、年1%の削減目標を達成するため、今まで実施してきたごみ減量化の取り組みをさらに充実させるとともに、紙ごみの拠点回収の拡大や、剪定枝等のリサイクルなど、ごみの減量化に向けた新たな施策も検討する。

◇関連質問

- ・エコでえ〜ことキャンペーン(市民連合)

福山市環境基本計画について
(水曜会)

問 福山市環境基本計画が年度内に策定予定と聞いている。

CO₂の削減やごみの減量など大きな課題があるが、計画の内容と各項目の目標値は。

答 現在、計画の骨子の素案を作成したところであり、今後、地球温暖化対策など、さまざまな環境に関する具体的な施策を盛り込み、広く意見を聞く中で、計画を策定していく。目標値は、第四次総合計画や、一般廃棄物処理基本計画などと整合性を図りながら、環境基本計画に数値目標の設定を考えている。

◇関連質問

- ・環境行政について(公明党)

川南土地地区画整理事業について
(水曜会)

問 この事業は、合併建設計画の総事業費271億円のうち68億円を占める重要な事業である。早期の事業実施が望まれるが、進捗状況と具体の取り組みは。

答 本事業は、合併建設計画に位置づけられた重要事業で、地域の課題解決に欠くことの出来ない事業である。本年8月に全地権者

を対象として事業説明会を開催し、計画策定経緯や事業の必要性、緊急性、財源措置などの説明と意見交換を行い、事業推進について多くの賛同をいただいた。今後は、地元自治会などとの連携や個別説明会などを実施しながら、21年度の都市計画決定を目標に手続きを進めていく。

◇関連質問

- ・神辺地区まちづくり事業について(明政会)



吉野山から神辺地区まちづくり事業区域を望む

政治教育について
(明政会)

問 投票率の低下が憂慮されているが、本市の小・中・高等学校では、政党政治や選挙制